

授業科目(ナンバリング)	栄養教育論実習Ⅱ (IB354) (実務的教育科目)			担当教員	川野香織 ・ 松尾嘉代子 (実務経験のある教員)		
展開方法	実習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
栄養教育論を理解し、実際の栄養教育に応用できるようにする。そのうえで、対象者(個人または集団)の栄養評価と栄養診断の結果を踏まえ、栄養介入のための栄養教育プログラムを計画立案し、実施する。実施結果を評価し、評価に基づき栄養教育プログラム再立案するという、一連の栄養教育方法を学び実践的に展開できる能力をグループディスカッションやロールプレイ、プレゼンテーションを通して修得する。							②③④⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	教育対象者をとりまく環境と病態との関連性を明らかにし、一次予防の必要性を理解することができる。				・定期試験	35%	
情報収集、分析力	教育対象者の食行動の問題点を把握し、その解決に向けた教育内容の計画の立案ができる。				・定期試験	35%	
コミュニケーション力	高度な知識を平易な言葉で表現し、カウンセリング技法を用いて適切な食生活実践に向けて行動変容に導くための栄養教育ができる。				・ロールプレイ	10%	
協働・課題解決力	管理栄養士になることを自覚し、栄養教育・指導を行うことに意欲的に取り組むことができる。				・授業態度 ・プレゼンテーション	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験(70%)は、栄養教育論や臨床栄養管理学・公衆栄養学を基礎とした栄養教育の計画・立案・実施内容を筆記試験で行う。プレゼンテーション(10%)は、与えられたテーマのアセスメントを行い、グループディスカッションを通して課題解決のための計画に基づいたプレゼンテーションの作成及び実施を評価する。その内容は課題に合致し、対象者にとって平易で理解しやすいものであるか、また個別教育においては行動科学技法を取り入れることができているかを評価する。</li> <li>・授業態度及びロールプレイ(20%)は、授業態度ではグループでの作業へ取り組む姿勢や班員との協力態度など、ロールプレイでは真面目に積極的な態度で取り組んでいるかを評価する。</li> <li>・プレゼンテーションの取り組みや資料提出等では、ポートフォリオを活用する。</li> </ul>							
授業の概要							
地域での集団および個別の健康教育を想定し、対象者のアセスメントを行う。問題解決に向けて行動変容の適切な資料を選択してカウンセリング技法や行動科学理論に則った栄養教育・指導を行うことを主とした授業内容である。授業内では、教員の病院や保健所での実務経験から、各ライフステージにおける具体的な栄養カウンセリングの事例や健康危機管理の実際、地域診断と食環境づくりの企画立案など、具体的な助言をする等し、より実践的な技術の修得へ導く。授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。							
教科書・参考書							
教科書:「マスター栄養教育論実習」建帛社 参考書:日本栄養士会編 「管理栄養士・栄養士必携」第一出版・「マスター栄養教育論」建帛社 「食品成分表2015」女子栄養大学出版部・「日本人の食事摂取基準」2015年版 第一出版 指定図書:「マスター栄養教育論」建帛社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
栄養教育を実施するにあたっては対象者との信頼関係が不可欠である。知識はもちろんのこと、栄養カウンセリングの技法を十分に身につけ、対象者とコミュニケーションがとれる指導者になれること期待する。授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁である。また、無許可での途中退出は不可とする。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	個別栄養教育 (1-1)	事例に基づいた栄養カウンセリングの実施 (SOAP形式による事例のまとめ①) (肥満)	行動科学理論および SOAP 形式を予習し、対象者の面談の方法および適切な媒体を使って栄養教育が行えるよう予習する。肥満者への栄養カウンセリングを復習する。
2	個別栄養教育 (1-2)	事例に基づいた栄養カウンセリングの実施 (SOAP形式による事例のまとめ②) (高血圧)	行動科学理論を予習し、高血圧改善へ効果的な媒体を使って栄養教育が行えるよう予習する。高血圧の者への栄養カウンセリングを復習する。
3	個別栄養教育 (1-3)	事例に基づいた栄養カウンセリングの実施 (SOAP形式による事例のまとめ③) (脂質異常)	行動科学理論を予習し、脂質異常改善へ効果的な媒体を使って栄養教育が行えるよう予習する。脂質異常の者への栄養カウンセリングを復習する。
4	個別栄養教育 (1-4)	事例に基づいた栄養カウンセリングの実施 (乳児)	行動科学理論を予習し、乳児期の子を持つ親に効果的な媒体をもって栄養教育が行えるよう予習する。乳児期の栄養カウンセリングを復習する。
5	個別栄養教育 (1-5)	事例に基づいた栄養カウンセリングの実施 (高齢者の在宅訪問)	高齢期の特徴をふまえた在宅訪問における個別栄養教育の方法を予習する。高齢期の在宅訪問における栄養教育を復習する。
6	個別栄養教育 (1-6)	事例に基づいた栄養カウンセリングの実施 (食物アレルギー児)	乳幼児期の食物アレルギーの特徴をふまえた個別栄養教育の方法を予習する。乳幼児期の食物アレルギーに対する栄養カウンセリングを復習する。
7	健康危機管理 (2-1)	災害時における備蓄食の検討① (病院における災害時用献立の作成)	災害時における給食施設の備蓄食を予習する。災害時の献立を考える際のポイントを復習する。
8	健康危機管理 (2-2)	災害時における備蓄食の検討② (病院における災害時用献立のプレゼンテーション)	災害時における給食施設の備品を予習する。教員・学生からの評価を基に復習する。
9	地域診断と食環境づくり (3-1)	既存の各種データよりプリシード・プロセスモデルを用いた地域の現状把握と課題抽出	地域診断やプリシード・プロセスモデル、既存資料を予習する。地域診断の方法を復習する。
10	地域診断と食環境づくり (3-2)	地域の現状から優先的な課題に対しての食環境づくりに関する新規事業企画	地域の現状課題を解決するための既存事業及び食環境づくりを予習する。地域診断の手法を復習する。
11	地域診断と食環境づくり (3-3)	事業企画書のプレゼンテーション	プレゼンテーションの方法を予習する。企画評価を復習する。
12	地域診断と食環境づくり (3-4)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業の検討①	企画書の内容を再検討し、改善に向けて予習をする。食環境づくりを復習する。
13	地域診断と食環境づくり (3-5)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業の検討②	設定目標の実践に向けた新規事業プログラムを予習する。地域診断による教育目標設定を復習する。
14	地域診断と食環境づくり (3-6)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業のプレゼンテーション①	対象者に分かりやすいプレゼンテーションを予習する。教員・学生からの評価から復習する。
15	地域診断と食環境づくり (3-7)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業のプレゼンテーション② プレゼンテーションの評価に基づき再立案	集団教育実施後、評価の内容を理解し、再立案のための予習を行う。よりよい栄養教育の内容を復習する。
16	定期試験		